

□ 要請番号 (JL22418B50)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ドミニカ共和国	E102 再生可能・省エネルギー		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等教育・科学技術省

2) 配属機関名 (日本語)

イサ大学

3) 任地 (サンティアゴ県サンティアゴ市) JICA事務所の所在地 (サントドミンゴ特別区)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同大学は北部農村の地域振興を目的として、1962年に設立された農業高等専門学校を前身として、1986年に設置された。現在は農業に焦点を当てた実践的な研究教育機関として、生徒数約2,300人、教員・職員406人を有する。2015年度の予算は約660万USドル。同大学では気候変動に起因する課題に対応すべく、再生可能エネルギー研究室を設置し、2013年にドイツからの機材供与、専門家派遣が行われた。またJICAは同大学を実施機関とした技術協力「PROAMOH」(対ハイチ農業技術研修コースプロジェクト)フェーズ II (2016-2020)を実施している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

活動先となる再生可能エネルギー研究室は食糧生産・環境学部天然資源学科に所属し、ドイツから供与された機材を中心に、代替エネルギーとしての研究が行われている。すでに同分野は環境管理学科の必須教科、また農学課では選択教科として研究が進められ、ガス化やバイオディーゼルについての論文も発表されている。再生可能エネルギーの研究プログラムでは概論、水力、風力、太陽光、バイオマス、地熱などの基本的な知識を中心としたプログラムがあるが、今回このカリキュラムの確認と改善が求められ、ボランティアの要請となった。また、今後ドイツの援助でカリブ地域へのインターネットを通じた遠隔教育や、バイオエネルギーを利用した水産養殖の研究等も計画されており、更なる研究室内の知識の向上が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

再生可能エネルギー研究室にて、C/Pとともに以下の活動を行う。

1. 研究カリキュラムについて、コンセプトや実習機材なども含めた計画見直しへの助言。
2. 研究チームとしての調整・作業計画の作成。
3. 再生可能エネルギープロジェクトへの提案と開発に向けたサポート。
4. エネルギー問題の解決に向けた研究活動へのサポート。
5. 研究室にある実験装置の有効活用に向けたサポート。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ガス化キット(Allpowerlab,TOTTIIV)、ガス分析器(Wuhan,3100P)、バイオジェネル°ロセッサー-70G(Turner)、木片裁断機、机、事務用品

4) 配属先同僚及び活動対象者

責任者:食糧生産・環境学部部長:男性、50歳代

C/P:再生可能エネルギー研究室担当:男性、20歳代、電気機械科卒、在籍3年

同僚2名:男性1名、ドイツからのボランティア1名(毎年1名が同席)

対象学生:18-25名/年(農学、環境マネジメント等の専門課程)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）工学 備考：専門性を持つ同僚と活動するため

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：活動上必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（18～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

配属先では1.バイオエネルギー(バイオガス)、2.ガス化、3.風力の順で研究を進めたい方針であるが、その他分野でも良い。インターネット・電気・水道などのインフラサービスは常時安定しているわけではない。